

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年3月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675400115
法人名	医療法人 拓和会
事業所名	ろうけん大楠グループホーム「たんぼぼ」
所在地	鹿児島県始良市蒲生町下久徳1251番地 (電話) 0995-54-3101
自己評価作成日	令和6年2月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年3月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ろうけん大楠グループホームたんぼぼは、介護老人保健施設や居宅介護支援事業所と隣接し、母体事業所との連携も整っています。

日々の出来事を忘れ、生活を送っている入居者様が多い中、その日その時を大切にし、入居者様の出来ることを維持しながら、共に支えあう関係作りを目指しています。

また、感染症等の流行状況に応じて制限を調整しつつ、職員自身が共に楽しみながらバーベキューやお花見ドライブ、餅つき等、四季折々の行事を実施する事で、入居者の生き生きとした笑顔に繋がるような環境作りにも取り組んでいます。

入居者様のご要望に合わせ、毎日入浴が出来るようにしています。

ご家族の面会も、感染症対策を行いながら、対面で出来る環境を整えるように取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は介護老人保健施設に隣接して建てられ、現在、事業所改築中のため1ユニットで運営されている。隣接施設とは日常的に協力関係が築かれており、母体医療機関とは緊急時を含めた24時間の医療連携体制が整っており家族の安心となっている。また、家族の意向に沿って看取り介護にも取り組んでいる。
- ・利用者が安心して生き生きと楽しく暮らせるよう、家族との居室面会や外出での交流を支援し、利用者の要望を可能な限り取り入れて、墓参りや自宅訪問、餅つきやバーベキュー等のイベントにも職員全体で積極的に取り組んでいる。
- ・管理者は、年度末に理念の中で新年度に重点的に取り組む項目を決めて、職員全員が共通理解の下で意欲的に業務に取り組めるようにしている。職員の質の向上のために研修や資格取得を支援し、休憩時間や有休の確保等、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送り後に、職員で介護理念を唱和し、それを入居者様とのかかわりの中で反映されるように努めている。	理念を重要事項説明書やパンフレットに掲載し、事業所内の3ヶ所に掲示している。毎朝申し送り時に唱和してケアに繋げており、年度末にケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍により、通常地域交流は困難であったが、各事業所、自治体と日頃より密に情報共有を図っている。以前のような、地域交流は出来ていないのが現状である。	民生委員から地域行事の情報は得ているが、かかし祭り見物以外の参加は控えている。地区の夏祭りで太鼓踊りの披露に来訪してもらったり、住民からの野菜の差入れは継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	相談者から直接お電話をいただき、ご相談を伺っている。ご家庭での様子や認知症の症状、ご家族との関係性や利用サービス等を伺い、ご家庭での介護の一助となるような助言に努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族・役所職員・民生委員の方々の協力を得て、現状報告や行事の報告などを行っている。また、地域での課題などを伺う機会もある。	2ヶ月に1回、対面での運営推進会議を実施し、事業所の状況報告と意見交換を実施している。コロナ等の感染症対策への委員の関心が高く活発な意見交換が行われ、事業所の取り組みへの理解を得る機会となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議等でアドバイスをしていただいたり、リアルな周辺の情報を提供頂いている。困難ケースなどの相談なども伺い協力関係を築けている。	市の担当者とは、運営推進会議時の意見交換や事業所改築の相談等で連携を密に取っている。福祉事務所とも年2回の来訪等を通して、協力関係を築いている。市の集団指導やZoom研修を受け、情報も得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所で毎月委員会を開催し、定義について再確認している。個人の意思を尊重し、主体的活動を支援する事が身体拘束の防止につながるため、個別ケアの検討を行うケア会議を最重視している。身体拘束のみならず、精神的拘束にも留意している。	指針を作成しており、委員会を毎月、研修会は年4回実施し、職員の理解を深めている。大きな声や不適切な言葉はお互いに注意し合っている。玄関の施錠は日中はせず、外に出たい様子に気づいたら見守ったり散歩への同行等、行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	ケア会議等で(言葉・身体)暴力、虐待について学習しケアに努めている。特にTV・新聞に報道されるような事件が発生した際は、積極的に話題に取り上げる事で、同じような悩みを抱える職員が一人で抱え込まないように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業及び成年後見制度について、ホーム内研修を行った。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結・解約の際は十分に説明を行い重要事項説明書・利用契約についてご本人、ご家族様が十分に納得、理解された上で同意を頂き契約を取り交わしている。重度化や看取り及び医療連携体制等についても同様に十分な説明を行い納得理解され同意を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様が要望を言えるように日々の声かけ会話を心掛けており、ご家族からの要望があった場合は、職員間で情報共有している。</p> <p>親しい間柄にあっても本音を明かさない入居者様・ご家族もおられ、それを察してあげられる”気遣い”や環境・雰囲気作りを大切にしている。意見箱も設置している。</p>	<p>利用者には要望を言えるように職員から働きかけ、外出や好物の希望を家族の意向を確認しながらドライブやイベントで取り入れている。家族には、電話や面会時に要望を聞いてその都度対応している。外出・外泊の要望は状況を見ながら理事長に相談している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常的にスタッフ間でコミュニケーションを図り、意見交換できる機会を設けている。意見の言えない職員に対しては、個別で面談などを行っている。</p>	<p>日常的に出されるイベントの運営やケアに関する提案等は、勤務の中でスタッフ間で検討し、業務に反映できるよう取り組んでいる。管理者は年度末に個別面談を実施する他、個別相談も受けて対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎年、健康診断を実施し、定期的に職員の健康状態や疲労等へ配慮しながら、勤務条件等の意見も取り入れている。資格取得に関しても、適宜、人的・金銭的バックアップを行い、手当等に反映を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>一人一人の力量を把握した上で、個別に合わせた研修参加や、法人内での個別のスキルアッププログラムを実施している。資格取得に向けての研修会などには、積極的に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>研修会などを通し、交流の機会を作っている。同業者との交流はほぼ無かったが、研修会に参加し交流する機会を得た職員もいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	フェイスシートで入居者様の情報を確認。入居時は、特にコミュニケーションをとるように心がけ、本人の居場所作り・話の傾聴・不安の軽減を行いながら、安心して生活できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族やご本人の状況について話し合う機会を設け不安や困っておられること、これからどんな生活を望まれるかを伺いながら、信頼関係を築くように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必ずしも家庭的な個別ケアがその方にとって適しているとは限らないため、他のサービス利用も視野に相談に応じるよう努めている。また、緊急の入居が必要と判断され、かつ空床がない場合は、同法人の老健に一時入所し待機されるよう提案している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に支えあって生きる同士と考え、出来ることは続けられるよう、出来ないことを支援することで自立支援につなげている。一緒に作業等を行う事でよい関係性作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族との絆が絶えぬよう、入居時に愛称や好物、大切なものを詳しくお聞きし、日常の会話に取り入れている。グループホーム便り（たんぼぼ通信）では、ご利用者の写真をできるだけ掲載し、日常風景をお伝えしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>感染症対策を行いながら、面会時にはゆっくりとした時間をすごして頂けるよう努めている。また、法人内に知人がいる際は、面会できるよう支援している。</p>	<p>家族等との面会は居室や玄関等の希望の場所で行い、老人保健施設の知人とは散歩時に交流できるようにしている。家族に毎月「たんぼぼ通信」等を送付し、関係が途切れないように努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様同士の性格や相性を考慮した席を配置し、1人1人が孤立しないような支援に努めている。入居者様の性格や日常の関係性について、全ての職員が共有し、職員も一緒に会話を多く持つなどしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>やむなく入院された方など、お見舞いや様態伺い等、ご家族との連絡をとったり、お葬式に参列させていただいている。地域の行事などでお会いすることもある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族からの情報や生活歴などを参考に、日々の会話や過ごし方の中で、入居者様の意向をくみ取るように心がけている。また、ふとした言葉・仕草・表情が変化する場面を見逃さない、感じ取る気づきを大切にしている。	日常の会話で、本人が意向を話せるように働きかけている。困難な場合は、家族の情報等を参考に本人の表情や仕草等からくみ取るように努めて支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書や入居者様やご家族にこれまでの生活の状況などを伺いながら、面会時や日々の会話の中で話題にしたりして経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの生活パターンを観察し、能力や意欲に応じた日課や活動を支援し、体調や状態を観ながら強要しないよう柔軟に対応している。本人が思いを表現しやすいような環境に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケア会議で本人様に必要なケアの見直しについて話し合い、アイデアを踏襲した介護計画を作成している。 また、ご家族様には細やかに現在のご様子をお伝えしながら、ご家族様が今現在どんな生活を望まれているか、会話の中から把握し、介護計画に盛り込んでいる。	電話・面会時に把握した家族の希望を基に、ケア会議で職員が検討した意見を加えて介護計画を作成している。モニタリングは、毎月ケア会議でチェックし、3ヶ月に1回まとめている。計画を6ヶ月毎及び状況変化時等に見直し、現状に合った介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別に日常生活の様子や心身の状態について、介護記録に詳細に記録しているほか、職員間で申し送りをしている。ケア会議にて、日々の気づき、出来たこと・出来なかったことを発表し、意見を出し合いケアの統一を図っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人様の状態に合わせてケアを行い、体調不良時には通院の付き添い、買い物支援等、本人様やご家族の希望に沿った柔軟な支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>以前のような活動参加はできていないが、感染症対策を行いながら、かかし祭りやドライブなど機会を作っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>隔週で訪問診療を実施する健康管理体制に同意の上、入居いただいている。また、他院への受診が必要な場合は速やかにご家族に連絡し、意向を確認している。ご家族の付き添いが困難な場合は、スタッフが同行する等、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>全員、契約時に母体医療機関がかかりつけ医となることを了解している。2週に1回、訪問診療を実施し、緊急時を含め24時間の医療連携体制が築かれている。他科受診は初回のみ家族同行し、その後は職員が対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>隔週の訪問診療の際、同行する特定の看護師と綿密に連携を図っている。日々のバイタルチェックや介護記録で異常が見られる場合は、病院へFAXまたは電話で状態を報告し、適切な医療や看護が受けられるよう指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、継続介護連絡表を病院に渡し、情報を共有する。入院時も洗濯物等を持参。病院関係者と情報を交換し、今後の相談、見通しなど行い、早期退院に努めている。退院後の相談などもしやすい関係にある。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>意思表示のできる元気なうちから、日々の会話の中で、どのような終末期を望んでおられるのか、大切にしている物や洋服など、実際のお見送りに反映するように努めている。また、入居者様の病状により、カンファレンスを行い、本人・家族の思いに柔軟に対応できるように努めている。</p>	<p>契約時に、重度化等の場合の対応について指針で説明し、段階に応じて家族の意向を確認している。重度化等の場合に主治医から家族に病状を説明し、看取り介護希望の場合は管理者から看取り指針の説明を行い、同意書を得ている。職員の研修及び看取り後の会議を実施している。見取り事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>日頃より、事例を交えながら急変時の対応・事故発生時の手順など学習し、定期的に研修も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練を行い、夜間想定を実施するが、重度化のため以前のような入居者様が全員避難することは難しくなってきている。併設施設の協力、民生委員への協力は依頼している。</p>	<p>年2回夜間想定で避難訓練を実施し、消防署の立ち合いは受けていない。隣接施設の協力があり、民生委員への声掛けもしている。土砂災害の訓練を検討中である。非常用の備蓄は、併設施設で1週間分の水・食料等を確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常会話は、記録に残すことで職員間で情報共有を図り、プライドを傷つけないような言葉かけを行うようにしている。なれ合いな言葉かけにならないようにし、職員間でも注意できる環境にしている。	研修を実施し、馴れ馴れしくならないよう個々に合わせた言葉かけに努めている。ベッド上での排泄介助時はドアとカーテンを必ず閉める等、羞恥心へも配慮している。リビングでの申し送りは内容が利用者にわからないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話を多く持つことで、思いや希望を表現できるよう表情を観ながら対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の体調をみながら、個々の生活リズムや意思を尊重し、本人の行動の妨げにならないよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髪を整えたり、スキンケアの習慣がある方はされており、男性には髭剃りの声掛けを行っている。2ヶ月に1度散髪の出張サービスを提供している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の下ごしらえ、食事の注ぎ分け、台拭き、お膳拭きなど可能な方には手伝っていただいている。誕生日には本人様の好物を提供したり、行事食のメニューを考えたり、味見などしていただいている。	栄養士の指導を受けた献立で、個々に応じた食事形態で提供し、利用者も一緒に下ごしらえや台拭きをしている。誕生日の好物・ケーキや季節の行事食、餅つき、バーベキュー等を計画し食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>主治医より入居者の病態に応じた食事提供について助言をいただき、また、個人の嗜好に応じた食事の提供をできる限り行う事で、摂取量の確保を行っている。水分量についても、甘味料を加え摂取を促すなど、その方に適した水分量の確保を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>個々の能力に合わせ、日中はできる限り見守りの下、自力で嗽やブラッシングなどしていただく。夜間の義歯消毒など清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、個人の管理能力に応じた排泄用品の提供、緩下剤の使用、声掛け・誘導を行い、可能な限りトイレでの排泄を支援している。</p>	<p>排泄パターンを参考に時間を見て声掛け誘導し、日中は全員トイレを利用している。定時誘導でパットの汚染が減少する等の改善例がある。個々に応じた排泄用品を使用し、夜のみオムツを使用する利用者もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>毎日の申し送り後に、職員で介護理念を唱和し、それを入居者様とのかかわりの中で反映されるように努めている。</p>	<p>排便困難が及ぼす認知症の周辺症状悪化等、日々のケアの中で理解を深め、個別に排便管理を行いながら、スムーズな排便を支援している。但し、排便困難時は主治医や看護師等と連携し、対応を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	希望者は毎日入浴していただき、音楽を流すなど、入浴を楽しんでいただいている。体調や状況に合わせた入浴支援を行い、本人の意思確認を行いながら入浴していただいている。ゆず湯で季節を楽しむなどの工夫も行っている。	9時～17時に毎日入浴でき、希望や必要時は同性介助及び2人介助を実施している。全員浴槽を利用し、音楽を流したり、入浴剤やゆず湯・しょうぶ湯も楽しんでおり、入浴を嫌がる利用者はいない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人に合わせた空調管理、布団の調整などを行い、入居者様はリビングと自室を自由に移動し、いつでも休息したり、昼夜問わず、入床・入眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人に合わせた空調管理、布団の調整などを行い、入居者様はリビングと自室を自由に移動し、いつでも休息したり、昼夜問わず、入床・入眠できるよう支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できることはしていただき、お手伝いへの感謝の言葉を伝えている。また、行事や好きな食事の提供で気分転換を行っている。外出の機会も増やしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>感染症対策にて、積極的な外出支援には至っていないのが現状である。以前のようには行かないが、ドライブやイベントへの参加を行っている。</p>	<p>天候の良い日は敷地内の散歩をしている。天候や体調を見て少人数でドライブに出かけたり初詣やかかし祭り、芝さくら・ひまわり・コスモス等の季節の花を見に出かけている。全員での外出については実施を検討中である。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>大部分の方が、金銭管理は難しくなっており、今年度は感染症対策にて買い物支援も控えているため、こまめに希望を確認しながら職員が買い物を代行し、本人にお渡しするよう努めている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>自筆でできる方は自筆で、できない方は職員が代筆し、年賀状等、折々のやり取りができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一緒に掃除をしていただいたり、壁画制作や季節の花を飾ったりして、季節感を感じられるよう工夫している。室温や湿度の調整なども心掛けている。</p>	<p>リビングは高窓があり明るくカーテンで日光を調節している。加湿器やエアコンで適度な室内環境に調節し、窓を開けて換気も行っている。壁には季節のタペストリー等を飾り季節を感じられるよう工夫している。長椅子を2箇所を設置し、利用者が好みの場所でくつろげるように配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自席以外にも長椅子でくつろがれたり、入居者同士で寄り合って話ができるように自由にすごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族の写真や使い慣れた寝具などをもって来ていただいたり、ハンガーラックに服を掛け選びやすいようにしている。ご家族やイベント等の写真飾ったりし、本人が自由に過ごせるような環境の工夫を行っている。</p>	<p>居室にはベッドや整理棚・ハンガーラック・エアコンが備えてあり、寝具はリースである。利用者は使い慣れた毛布やテレビ・ラジオを持ち込んだり、自分の好みで家族や行事の写真を飾っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の能力に応じて、手すりや自助具の使用、座席の配置の工夫などで、できる限り自力でできるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない